

# 自主創造

2020年10月27日

第6号

校長 根路銘 敢

学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく国際社会を生きる生徒の育成

# 読書のすすめ

## 秋の夜長に親子で本を

朝夕一段と過ごしやすくなり、日が暮れる時間も徐々に早くなってきました。

先日の授業参観には、多数の保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。ございました。お子さんが授業に取り組み姿をご覧になられたことと思います。

学校では、合唱コンクールに向けた各学級の取り組みや放課後の部活動が活発に行われています。これからもコロナ感染症拡大防止に努めながら生徒一人一人に活躍と感動の場

を創っていきたくないと考えています。

さて、近年、生活環境の変化や様々なメディアの発達・普及などを背景として、国民の「読書離れ」「活字離れ」が指摘されています。子ども達の周りにもテレビやゲームなど、楽しい遊びがたくさんあり、パソコンやスマートフォンで簡単に電子情報が手に入るので、か

ら、「読書離れ」がおきても不思議なことではありません。しかし、情報がこんなにあふれている時代に、それでもまだ1冊の本を手取る意味は何でしょうか？よい書籍、中にはひとつの大きな世界観があり、この世界がいったいどのようなものなのかを、全力で私たちに伝えてくれる気がします。本の世界は私たちの心に静かに定着し、考えの土台をつくっていきたくれます。読書は知識を蓄え、感覚を磨き、考える力を養うだけでなく、視野を広げ、想像力を鍛えます。本を読む意味は、そこにあると思いま

す。

本校では、9月23日～10月30日を「読書月間」とし、「おすすめの本」の紹介や生徒主体によるリモートでの読み聞かせ等により、読書活動を推進しています。また、読書をする生徒が多く、毎年図書館利用による中学生の読書冊数は沖縄県の平均を上回っており、本校の良さのひとつになってい

ます。今年度、コロナ対策の影響で、図書館利用に制限がありますが、子どもたちには、1冊でも多くの本に出合ってもらいたいと思っています。



どうぞご家庭のほうでも、お子さんのスマホを利用する時間やテレビ視聴を削って親子で読書を行ってみてはいかがでしょうか。



### 地区駅伝大会

10月24日に中頭地区駅伝大会が、うるま市与那城総合公園陸上競技場から海中道路、浜比嘉大橋を渡るコースで行われました。コロナ禍のなか、開催も危ぶまれましたが、2週間ほど前に距離を女子2km、男子3



kmを基本として女子5区男子6区で実施が決定されました。短い準備期間でしたが、男女とも強風のなか懸命な走りを見せていました。結果は、女子が22校中17位、男子は24校中11位でした。選手、役員の皆さんお疲れ様でした。

### 【報道委員会の紹介】



委員長：渡嘉敷 涼風  
副委員長：渡名喜鐘、金城晴輝

私たち報道委員会の目標は、掲示物から学校を盛りあげることです。掲示物から「心」「想い」を伝えたいと思います。そのために日々の活動として「学級新聞」や「各行事ごとの掲示物作成」のほか今年度から「グッジョブさん」を導入しています。「グッジョブさん」とは、誰かがクラスのために行動したり、励ましの言葉や元気づける言葉で、授業を受ける雰囲気をよくしたりクラスの肯定感を高めてくれた人や行為を褒める活動です。この活動を通して真志喜中が楽しくなることを委員一同願っています。



### 【女子ハンドボール部】 主将：外間 海音

私たち女子ハンドボール部は2年生10名、1年生8名、計18名で活動しています。これから、1年生も加わった新チームで大会に挑み力を合わせて頑張りたいです。顧問の照屋憲先生はスポーツが好きな先生です。女子ハンドボール部の部員



もとても元気で仲が良いので、これからも顧問の先生方や保護者に感謝しながらきついな練習にも全員で頑張りたいです。とても元気なことを生かしたり、良い行動がとれるようにしたいです。応援よろしくお願いします。